

●開会のことば

今、必要な援助

～「脱ひきこもり支援」FSJGの活動から見えたこと～

司会 高木千佳子（FSJCメンバー）：本日はお寒い中、お忙しい中を多数の方にお集まりいただきありがとうございます。

さて、ファーストステップ・ジョブグループでは毎月例会を行っておりますが、それとは別に年1回活動報告を兼ねて、その年のテーマに沿って特別例会を開催しています。今年は「今、必要な援助～『脱ひきこもり支援』FSJGの活動から見えたこと～」をテーマに講演会を開くことになりました。

「ひきこもり」が社会的に注目されて10年余りになります。この間、さまざまな議論や活動が展開されてきました。しかし、現在大きな割合を占めるに至った長期化した「ひきこもり」について、必ずしも系統的で実効的な支援方法が示されてきたわけではありません。当事者親が中心となって活動するファーストステップ・ジョブグループ（FSJG）は、このような長期化した「ひきこもり」を対象に、当事者の「今できる」行動を認める、認めることのできる環境を創る援助を展開しています。そして、ある一定の成果をあげています。そこで、今回は、その活動から見えたことについて、そして当事者側が必要とする援助について、理論と実践（対人援助学の対場から）、社会資源との連携、ひきこもりと家族、といった多角的な視点から望月昭先生（立命館大学人間科学研究所所長）、野池雅人先生（きょうとNPOセンター事業統括プロジェクトマネージャー）、川北稔先生（愛知教育大学大学院教育実践研究科講師）にお話していただきます。

最後に少し、皆さんからの質問等をいただく時間を設けておりますので、最後までよろしくお願いします。それでは、まずファーストステップ・ジョブグループ代表上田より活動報告をさせていただきます。